

<地域連携部会>

【児童生徒の実態】
・地域のボランティア団体や公民館、小中学校が連携を図りながら活動を行うための体制を整備することができる。児童生徒は、小中学生と一緒に活動を行う機会を楽しみにしており、地域の方との交流にも、意欲的に取り組んでいる。
【部会のねらい】
・地域学校協働活動を中学校区に広げ、小中一貫教育と関連させながら、目指す子ども像の実現に迫る。昨年度までの活動内容を継続し内容を充実させ、児童生徒が活動に進んで取り組むことができるようにする。

視点	<A> 教育課程の工夫改善	 教育活動の連続性の確保	<C> 教職員間の連続・協働	<D> 家庭・地域との連携・協力
----	------------------	--------------------	-------------------	---------------------

取組	・中学生による読み聞かせ（国分寺小、国分寺中の図書館の本から選定。9月・10月実施を目標。） ・作品交流（①公民館展示 ②各校での交流作品展示）
成果	・読み聞かせを9月に実施することができてよかった。また、中学生の読み聞かせや児童と生徒の交流の場が非常によかった。 ・作品交流では、今年度から中学校の公民館展示がなくなったが、新たな展示方法もよかったと思う。
課題	・読み聞かせ後の交流は、1年生から6年生の全クラスで実施してもらいたかったという意見があった。実施日については、教務主任間で調整を行い、年計に入れてもらうことで計画を立てやすくなる。 ・次年度の作品交流は、夏休みに公民館、夏休み明けに各校で行っていきたいと考えている。今後、公民館と連絡を取っていく。

読み聞かせ



作品交流展示（公民館）

